

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TSヒマワリ			
○保護者評価実施期間	2025年9月17日 ~ 2025年10月18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	30名（重複1名）
○従業者評価実施期間	2025年9月17日 ~ 2025年10月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月20日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員（常勤・非常勤）の支援や活動の情報共有を大切にしている	常勤職員のみではなく、非常勤職員と支援や取り組みの共有をする会を設けたり、日頃から互いに利用者の状況を伝え合ったりしている。また、支援の振り返りは非常勤職員の出勤時間に合わせて行っている。	チーム状況に合わせて、継続していく。
2	利用者の満足度が高い	日頃から利用者の言葉や行動を気にかけ、職員が寄り添っている。職員同士の連携を大切に、利用者支援を行い、利用者も職員も笑顔が見られるように活動を行っている。	利用者の「やりたい」「やってみたい」を聞いて、実現していけるように活動を考える。
3	SNS配信（インスタ）・LINEで利用者の活動写真の共有で活動を知つてもらう機会が増えた	日頃の活動やTSでの取り組み等をインスタグラムに月4回程度、投稿している。また、公式LINEのキーボード機能にTSヒマワリのインスタグラムのリンクを貼っているため、回観やすい。 利用者の活動様子を月に1回、LINEでベストショットとして送信し、利用者の笑顔を保護者と共有している。	TSヒマワリ内での活動だけでなく、学童などとの交流もあることを配信。職員の取り組み（勉強会や活動準備など）を配信し、活動以外のTSヒマワリを知つていただく。 保護者との写真共有アプリの使用を検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているかが課題	年3回程度の保護者交流イベントを開催している。LINEや紙面での周知を行っているが、参加率が伸びない。	どのような保護者交流を求めているかアンケートを行う。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ないことが課題	どのような交流を求めているかの検討を行う。中高生を受け入れ対象としているため、小学生との交流の機会がない。	同年代のボランティアの受け入れをしている。実施したことば、SNS等で周知していく。 地域の学童の職員と同法人内の放課後等デイサービスとの勉強会・交流に向けて、話し合いを進めている。
3	TSヒマワリとしての地域に向けた取り組みが少ないことが課題	公共交通機関のダイヤ変更により、半田特別支援学校からTSヒマワリまでのバス練習ができなくなってしまったことで地域を歩く機会が減った（挨拶の機会が減った）。 放課後の支援になるため、交流の時間の確保が難しい。	職員はあきまつりの開催や地域行事の参加をしているが、利用者を巻き込んでの取り組みが難しいため、利用者含め、地域の人たちも参加できるイベント（案：駄菓子屋）の考える。

保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		公表	保護者等からの事業所評価の集計結果					
事業所名		TSヒマワリ	公表日 年月日 _____					
			利用児童数 2025年10月25日（土）：29名 回収数 30名(1名重複)					
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応
	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	0	1	3	もっと小さい子だと違うかもしないが、高校生には十分です。 もう少し広いと活動の幅が広がるのかなとも思いますが活動を見学したときなどに狭くて困るとも思いません。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	6	実際の活動をあまり見てないので何とも言えませんが、大人が足りなくて困ったという話を子供がしていないので大丈夫なのかなと思っています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	0	0	2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	0	0	2			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	1	2	たまに、スタッフの方と話した事を楽しそうに教えてくれるので、ありがたいと思っています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	4			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	0	0	2			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	3			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	0	1	1			
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	0	0	4	調理、お出かけなど、色々な経験ができる助かっています。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	0	4	17	近くの公民館が会場でミニ運動会のプログラムがありましたが、交流があったかどうかはわからない。		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	2			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	1			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	0	1	8			
	15 曰頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	27	0	2	1	細かい誤解があることがある 正直なところ、利用日の連絡帳は子供の様子があまり伝わってこない時もありますが、面談などで色々教えて頂けているので良いかなと思います。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	1	0	いつもたくさん話を聞いて下さってありがとうございます。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	0	2	1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	0	2	6	利用したことないです		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	0	0	4			
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	0	0	2	年齢が大きいので必要ないかなとも思いますが、利用日の活動の様子をもう少し詳しく知りたいなと思う事はあります。		

	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	2		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	1		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	0	1	3		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	0	1	4		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	0	1	4	まだ発生していないのでわかりません。	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	28	0	1	1	知っているお友達がいなくても、スタッフさんと喋れるから平気だと言っていました。ありがとうございます。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	0	1	1	家を出る少し前に自分から支度を始めるので、楽しみにしているのが感じ取れます。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	29	0	1	0	学校生活に疲れている時はたまに行くのを面倒くさがるのですが、帰ってくると必ず笑顔で楽しかった！と言うので、沢山リフレッシュしてきたんだなど嬉しい思います。いつも本当にありがとうございます。 いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TSヒマワリ				公表日	2025年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	人数によっては部屋を分けて活動ができる状況により部屋を2つ使用し、より子ども達が落ち着いて活動に取り組める環境作りをしている。 活動によって、部屋を分けている 部屋が狭くならないように普段使わない物は倉庫などに閉まってある。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0		男性職員がいると良い	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	全館バリアフリー 座席の前にはあまり掲示物を貼らないようにしている	トイレがもう少し近いと、子ども達が行きやすいかもしれません	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	清掃、消毒を行っている。使わないものなどは棚にしまうようにしている 毎日非常勤職員が活動前に掃除・消毒をしている。活動に合わせて広い部屋を使うなどの工夫をしている。	一部的な環境（大声が聞こえる）に対して配慮が必要 トイレにたまに便がついてることがあるので気付いた職員がその都度掃除する必要がある	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	相談室や和室等使用がない時間帯は有効に活用している クールダウン用に部屋を用意している クールダウン部屋として相談室を使用している。 個別対応が必要な場合を予測し、部屋の準備をしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	プログラムの打ち合わせの時に振り返りをするようになり、非常勤職員も参加できるようになった。 普段の振り返りにパートも混じっている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケートを行っている 保護者向け評価を集計し、会議で改善点を話し合っている。 前年度を参考に、周知方法など変えている	具体的にはわからない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々のふりかえりや、共有会などの時間を確保できている。 パートさん共有会や会議を通して話し合いをしている 会議や毎日の振り返りを行い、共有などを行っている。また、月に2回非常勤との共有会を行っている 月に2回ほど困ったことなどの共有会を行っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		受けていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内の施設交換研修、法定研修、自立支援協議会子ども部会主催の研修、その他研修機会は多彩にあり、年1回以上受け切れている。 法人内、事業内で行っている研修や勉強会に参加している。非常勤とも共有会を行い、日々の支援の困りごとなど話し合う時間を作っている		
支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	面談を通して保護者の方のニーズや希望を聞いている。 面談や日頃の連絡票、引き継ぎ時に保護者と話をしている。	具体的には分からない	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	モニタリング会議を行っている 会議を行い、話し合いをしている		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	非常勤とのミーティング時間を月に1回以上設けて共有時間を作っている 計画更新を行った時に、共有をするようにしている 非常勤職員にも共有会で計画の説明をしている 非常勤にも伝えている		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	きょうだい会や保護者参加イベントなどの周知を行っている		

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	月に1度月間のプログラムを話し合う時間を設けている会議を行い、決めている 予定表会議・プログラム会議を行って決めている 月に2回、会議を行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月同じにならないように考えている 同じプログラムでも内容を少し変えて同じようにならないようにしている 月に1回行うプログラムはあるが、イベントや季節ごとに変えて いる お出かけの際も場所が固定されないようになっている	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別、グループ、ペア等、随時、活動に合わせている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前に行なうようにしている ミーティングを行い、活動内容や職員配置を伝えている。 チーム全体で行っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	非常に勤勉にも様子を知つてもらうために、前日のふりかえりを当日打ち合わせ後に行なっている 振り返りは次の日に行なっている。内容も記録をして残している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	様子を書き、当日いなかった職員にも分かるようにしている 振り返りの内容は記録をしている。「こうしたほうがいいのでは」と気付いたことはすぐ実行している。	行動記録については、標準のシートを活用できるとよい 日々の記録が、どれくらい活用されているかは不明です。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	モニタリングを3か月、6か月に行なっている 月に2回行なっている	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	選択肢を設けたり、自分で選ぶ機会を作っている 本人にどうしたいのか聞くようにしている。難しい場合は選択肢を提示している すごく悩んでしまう子にはいくつか選択肢を与え一緒に考えるようになっている	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	ケース会議等に参加している	
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	学校見学に行き、授業の様子を見たり、先生から話を聞いたりしている 市内中学校を見学した	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか。	7	0	お迎え時に様子を聞く。学校見学へ行ったときは先生と話す時間を作つていただいた 学校見学を行なっている。 学校見学で都度話を聞いている。送迎時に一日の様子を共有してくれる学校もある 先生に学校での子どもたちの様子を聞くようにしている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7	小6からの利用となっているため児発などと情報共有をする場面がほぼない。 対象児が中学生・高校生のため、情報共有ができない	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	同法人内の事業所には共有をしている	法人外の事業所については、今後の課題である。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	0	地域の学童と交流を行った（パリーンアート） パリーンアートを行った 7月に学童と合同のイベントを行った 行事や地域のイベントを通して	地域の児童クラブとは今後、職員間交流から始める もう少し、機会が増えるとよいと思います。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		分からない
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	面談や日々の連絡票で行なっている 連絡票で日々の様子を共有している。送迎で会える保護者の方には直接伝えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行なっているか。	5	2	情報提供をしている	研修案内や事業所見学会などのお知らせは行なっているが、こちらが主催することは少ない。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか。	7	0	見学や契約時に行なっている	

保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	計画を更新したら直接又は電話で説明をしている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	半期に一度以上面談を行っている 年に2回面談を行っている	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	法人できょうだい児支援を行っている 8月には家族も一緒に参加できるBBQイベントを開催した。2月にはTSヒマワリカフェを開催する予定	BBQや事業所のまつりなどのイベント開催を行っているが、参加される方が少ない。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	インスタで日々の様子を発信している 写真や動画での活動状況の発信が、子ども達自身のふりかえりになり、保護者にも状況が伝わりやすくなっていると思います。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	外部へ展示する物やインスタ等で使用する写真は肖像権の同意を得た方のみにしている	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	個別で連絡をするなどをして分かりやすくしている	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	地域行事に参加、また事業所のまつりにも地域の方々を招待している 職員が地域の祭りや清掃活動に参加 10月に事業所でお祭り開催予定 地域行事などへの参加にも努めている あきまつりを今年も開催する予定。出店者も板山地区の方が中心 年に一度、併設する生活介護事業所とまつりを開催している	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを点検すること周知も年1回以上行える工夫をする トイレ付近の壁にも貼ってありいざと言う時に困らないようになっている	
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	併設する生活介護事業所と合同でBCPの研修や訓練を行っている 定期的に避難訓練を行い避難までにかかった時間などを計測している	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	対象の方がいない	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	避難訓練を行っている	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		分からぬ
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	月1会議を行い、改善点などは非常勤にも共有している ヒヤリハット会議を行っている。非常勤職員にも共有している 月に1回、会議を行い、改善のための取り組みをしている パートにも共有されている	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	研修、勉強会に参加している 定期的に研修を行い、その日に参加できなくても後日行われる	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	同意を得てから、行っている	